

《大会申し合わせ事項》 夷隅カップ2014

- 1 開会式は、行わない。
- 2 閉会式は、表彰式を兼ねて11月24日（月）に会場で行う。
- 3 **朝の打ち合わせ会は、8時20分より各会場のステージで行う。**（両日とも）
- 4 **第1試合の練習開始時刻は、予選・決勝とも試合開始時刻30分前からとする。**
- 5 連絡なしでゲーム開始予定時刻から15分過ぎても用意が整わなかった場合、相手の不戦勝（20対0）とする。
- 6 会場到着後チーム責任者は、会場主任（会場責任者）まで到着の報告をする。
- 7 ベンチには、選手15名・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・チーム関係者等の19名以内とする。（コーチ・アシスタントコーチ・代表者は小学生は不可）
- 8 ベンチは、組み合わせ表の左側のチームがオフィシャル席に向かって右のベンチとし、原則として淡色（白色）のユニフォームとする。
※これによらないユニフォームの場合は両チームの話し合いで決め、決定事項を審判に連絡する。
- 9 メンバー表の提出はオフィシャル席まで、第1試合目はゲーム開始10分前とし、第2試合目以降のゲームについては、前の試合のハーフタイムに提出する。その際、スターティングメンバーに番号のところに○印をつける。ユニフォームの番号はできる限り連番とする。
- 10 メンバー登録については、第1・第3クォーターは出場するメンバーを審判が1分前を合図したら直ちに、また、第2・第4クォーターに出場するメンバーは、前のクォーター終了直後にオフィシャルに報告する。
今年度より1Q6分としたので、運営上1試合の時間短縮に協力する。
- 11 審判及びテーブル・オフィシャルズ
 - ① テーブル・オフィシャルズは、組み合わせ表通りとする。
 - ② 審判は配当に従って行うが、当日変更する場合もある。（審判部より依頼）
- 12 試合時間
全試合 6分－1分－6分－5分（ハーフタイム）－6分－1分－6分
- 13 **予選リーグ、決勝リーグ、交流戦リーグ等すべてにおいて、同点の場合延長戦を行う。4Q終了後2分後に3分間の延長を行う。**各チームは後半と同じバスケットを攻撃する。3分間の延長を終わっても両チームの得点と同じならば、必要なだけ延長戦を繰り返し行う。
- 14 競技規則については、日本バスケットボール協会ミニ・バスケットボール競技規則を適用する。
- 15 ウォーミングアップを外で行う場合は、必ず外用と体育館用のシューズを区別し、土足禁止を厳守とする。
- 16 駐車場については長者小会場と大原小会場は校内の駐車スペース、大多喜小会場は役場駐車場となる予定。（当日、不明な場合、会場責任者に確認のこと）

17 予選のリーグ戦における勝ち上がりは次の通りとする。

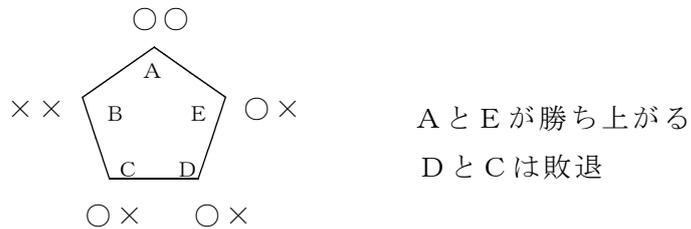
【3チームリーグ】

- ① 2勝したチームが決勝トーナメントに進む
- ② 全チームが1勝1敗の場合、ゴール・アヴェレージ（総得点÷総失点）で決める。

【5角形】

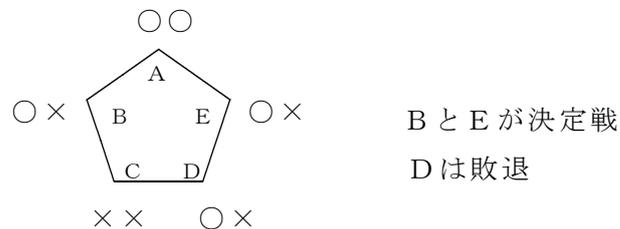
- ① 2勝チームが2チームの時はその2チームが決勝トーナメントに進む。
- ② 2勝チームが1チーム、1勝1敗のチームが3チームになった場合には、2勝のチームと次のチームが勝ち上がりとする。

a. 直接対決の関係で最上位のチームが勝ち上がる。



b. 直接対決のないチームがある場合、直接対決の上位と直接対決のないチームが勝ち上がりチーム決定戦を行う。

< 3分間の延長戦と同様のゲーム、再延長あり、ベンチは若い番号がT O 向かって右。審判は本部からの配当とする。 >



- ③ 全チームが1勝1敗の場合、ゴール・アヴェレージ（総得点÷総失点）で決める。

※ 2日目どちらが白ユニフォームになるかは終了後抽選とする。

18 コーチ等は、ベンチマナーに十分注意し、審判の判定に対して不作法に不服を言うような行為はしない。

19 応援については、ベンチ及び保護者が相手チームの中傷や審判への罵声などないように十分注意する。（児童育成の観点に立ち、チームの品位や指導者の資質まで疑われることのないようにする。）

20 会場使用後は、弁当等の後始末をきちんとし、ゴミはチームごとに持ち帰る。帰った後は、「使用前よりきれい」な状態を心掛ける。

21 小学校の敷地内は全面禁煙です。敷地外は可ですが、吸い殻や火の始末は確実に行うこと。また、最近の大会で、吸い殻の入った空き缶がそのまま置き去りにされていることがあったので、最後まで責任を持つこと。

